

防災人材交流シンポジウム 「つなぎ舎」を開催します！

南海トラフ地震等の大規模災害に立ち向かうためには、地域のあらゆる主体がお互いに顔の見える関係を構築し、地域、世代、組織を超えて一体となって対応することが必要です。

東日本大震災から10年という節目を迎え、東北と東海地方の防災活動に取り組むNPO・ボランティア団体、大学生等が一堂に会し、過去の災害経験をつなぎ、南海トラフ地震等の大規模災害に備えるため、下記のとおり防災人材交流シンポジウムを開催します。

なお、つなぎ舎とは、防災・減災活動に取り組む担い手がつながる場、過去の災害経験を人から人へつなぎ、地域活動の活性化につなげる場として、防災人材交流シンポジウム実行委員会が主催する地域防災力の向上を図るシンポジウムです。

記

1 日時

2021年11月14日（日）午後1時から午後5時まで

2 会場

あいち健康の森公園 あいち健康プラザ プラザホール（知多郡東浦町森岡源吾山1-1）

3 主催

防災人材交流シンポジウム実行委員会*

※名古屋大学、愛知県、名古屋市、認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード、あいち防災リーダー会、特定非営利活動法人あいち防災リーダー育成支援ネット、なごや防災ボラネット、特定非営利活動法人耐震化アドバイザー協議会、あいち・なごや強靱化共創センター

4 共催

一般社団法人日本損害保険協会中部支部、中日新聞社、一般社団法人国立大学協会

5 目的

東日本大震災の被災地の経験や教訓から、災害伝承の大切さを確かめ合い、永続的な伝承活動の必要性について理解と協力を呼びかけ、過去から未来へ「備え」をつなげていきます。

6 会場参加定員

100名

※新型コロナウイルス感染防止対策として、入場制限を実施させていただきます。

※会場参加を希望される方は、あいち健康プラザ プラザホールにお越しくください（事前申込は不要です）。

7 YouTube 配信

パネルディスカッションの様子をYouTube から御覧いただけます。

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/seminar&event.html>

8 参加費

無料

9 内容

(1) パネルディスカッション

南海トラフ地震臨時情報発表時の行動・対応について、東日本大震災の被災経験を踏まえて事前の備えの大切さについて、若者4名との意見交換などを行います。

<パネリスト>

- ・ふくわ のぶお 福和 伸夫 (あいち・なごや強靱化共創センター長/名古屋大学減災連携研究センター・教授)
- ・たけだ しんいち 武田 真一 (3.11メモリアルネットワーク共同代表/宮城教育大学 3.11いのちを守る教育研修機構 特任教授)
- ・たかき けんいち 高崎 賢一 (災害ボランティアコーディネーターなごや代表)
- ・しの 志野 ほのか (3.11メモリアルネットワーク)
- ・ながぬま ゆうと 永沼 悠斗 (3.11メモリアルネットワーク)
- ・ごとう りん 後藤 凜 (日本福祉大学4年)

・名古屋大学学生

<コーディネーター>

- ・くりた のぶゆき 栗田 暢之 (認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード代表理事)

※新型コロナウイルス感染症の状況により内容を変更することがあります。

(2) グループワーク

東北、東海の地域で防災・減災活動に取り組む担い手と専門家が、地域の災害や東日本大震災から私たちは何を学び、どのように伝承していくのかについて、意見交換などを行います。

【あいち・なごや強靱化共創センター】

愛知県、名古屋市、名古屋大学が、産業界と共に、大規模災害発生時においても、愛知・名古屋を中核とした中部圏の社会・経済活動が維持されるための研究開発や事業を、産学官が戦略的に推進するため、2017年6月に設立。

